

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年8月17日(2023.8.17)

【公開番号】特開2021-137365(P2021-137365A)

【公開日】令和3年9月16日(2021.9.16)

【年通号数】公開・登録公報2021-044

【出願番号】特願2020-38343(P2020-38343)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和5年8月8日(2023.8.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

識別情報の可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であつて、

可変表示に関する情報を保留情報として記憶可能な保留記憶手段と、

前記有利状態に制御可能となることを報知する特定報知を実行可能な特定報知実行手段と、

識別情報よりも縮小された態様による縮小識別情報の可変表示を実行可能な縮小可変表示手段と、を備え、

前記保留情報として、前記有利状態に制御可能な可変表示に関する特定保留情報を含み、

前記特定報知実行手段は、

特定タイミングにおける識別情報の可変表示である特定可変表示において、該特定可変表示にて前記有利状態に制御可能となる場合と、前記保留記憶手段に記憶されている保留情報に対応した可変表示にて前記有利状態に制御可能となる場合とで、前記特定報知を実行可能であり、

前記特定可変表示に基づいて前記有利状態に制御されず前記特定保留情報が前記保留記憶手段に記憶されている場合に、前記特定可変表示において前記特定報知を実行し、

前記縮小可変表示手段は、

前記特定可変表示に基づいて前記有利状態に制御されず前記特定保留情報が前記保留記憶手段に記憶されている場合に、該特定可変表示において前記特定報知が実行されたことに関連して縮小識別情報を導出可能であり、

前記特定可変表示に基づいて前記有利状態に制御されず前記特定保留情報が前記保留記憶手段に記憶されている場合に、前記特定可変表示に対応した縮小識別情報の可変表示の表示結果として、前記有利状態に制御されることを示唆する第1表示結果、又は、前記有利状態に制御されないことを示唆する第2表示結果を導出可能であり、

前記特定可変表示において、識別情報の可変表示を仮停止させた後に再開する再可変表示を実行可能であり、

前記再可変表示が実行される場合に予告演出を実行可能であり、

縮小識別情報の可変表示の表示結果として、前記第1表示結果が導出される場合と、前記第2表示結果が導出される場合と、で前記予告演出の実行割合が異なる、

40

50

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

(A) 上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、

識別情報の可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって

可変表示に関する情報を保留情報として記憶可能な保留記憶手段と、

前記有利状態に制御可能となることを報知する特定報知を実行可能な特定報知実行手段と

識別情報よりも縮小された態様による縮小識別情報の可変表示を実行可能な縮小可変表示手段と、を備え、

前記保留情報として、前記有利状態に制御可能な可変表示に関する特定保留情報を含み、前記特定報知実行手段は、

特定タイミングにおける識別情報の可変表示である特定可変表示において、該特定可変表示にて前記有利状態に制御可能となる場合と、前記保留記憶手段に記憶されている保留情報に対応した可変表示にて前記有利状態に制御可能となる場合とで、前記特定報知を実行可能であり、

前記特定可変表示に基づいて前記有利状態に制御されず前記特定保留情報を前記保留記憶手段に記憶されている場合に、前記特定可変表示において前記特定報知を実行し、前記縮小可変表示手段は、

前記特定可変表示に基づいて前記有利状態に制御されず前記特定保留情報を前記保留記憶手段に記憶されている場合に、該特定可変表示において前記特定報知が実行されたことに関連して縮小識別情報を導出可能であり、

前記特定可変表示に基づいて前記有利状態に制御されず前記特定保留情報を前記保留記憶手段に記憶されている場合に、前記特定可変表示に対応した縮小識別情報の可変表示の表示結果として、前記有利状態に制御されることを示唆する第1表示結果、又は、前記有利状態に制御されないことを示唆する第2表示結果を導出可能であり、

前記特定可変表示において、識別情報の可変表示を仮停止させた後に再開する再可変表示を実行可能であり、

前記再可変表示が実行される場合に予告演出を実行可能であり、

縮小識別情報の可変表示の表示結果として、前記第1表示結果が導出される場合と、前記第2表示結果が導出される場合と、で前記予告演出の実行割合が異なる。

(1) 他の遊技機は、

識別情報（例えば演出図柄など）の可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態（例えば大当たり遊技状態など）に制御可能な遊技機（例えば特徴部100AKのパチンコ遊技機1など）であって、

可変表示に関する情報を保留情報として記憶可能な保留記憶手段（例えば第2保留記憶バッファなど）と、

前記有利状態に制御可能となることを報知する特定報知（例えば予告演出、表示結果対応演出、擬似可変表示など）を実行可能な特定報知実行手段（例えばステップAKS108の予告演出処理、ステップAKS110の表示結果対応演出処理を実行する演出制御用CPU101など）と、

前記特定報知演出が実行されたあとに、該特定報知に対応した前記有利状態に関連した関連演出（例えば当たり対応演出）を特定画像を用いて実行可能な関連演出実行手段と、

識別情報よりも縮小された態様による縮小識別情報（例えば小図柄など）の可変表示を実行可能な縮小可変表示手段（例えば演出表示装置9の小図柄表示エリア9Kなど）と、

10

20

30

40

50

を備え、

前記特定報知実行手段は、

特定可変表示（例えば特別状態最終変動など）にて前記有利状態に制御可能となる場合と、該特定可変表示が実行されているときに前記保留記憶手段に記憶されている保留情報に対応した可変表示にて前記有利状態に制御可能となる場合とで、前記特定報知を実行可能であり、

前記特定可変表示に基づいて前記有利状態に制御されず前記特定保留情報が前記保留記憶手段に記憶されている場合に、前記特定可変表示において前記特定報知を実行し、

前記縮小可変表示手段は、

前記特定可変表示に基づいて前記有利状態に制御されず前記特定保留情報が前記保留記憶手段に記憶されている場合に、該特定可変表示において前記関連演出が実行されたことに関連して縮小識別情報を導出可能である。

このような構成によれば、縮小識別情報が停止したことを目立たなくすることができる。

10

20

30

40

50